

長良川合宿報告書

行程

30 (金)

17:30 部室集合・装備とレンタカーの準備

19:00 出発

24:00 到着 ・ 設営

(設営完了次第就寝)

31 (土)

7:00 起床・朝食

9:00 第1航下開始(航下者以外は昼食の準備)

11:30 第1航下終了

12:00 昼食

13:30 第2航下開始(航下者以外は夕食の準備)

16:00 第2航下終了

17:30 夕食

20:00 ミーティング

1 (日)

6:00 起床・朝食

8:00 第3航下開始(航下者以外は昼食の準備)

10:30 第3航下終了

11:00 昼食 ・ テントたたむ

12:30 第4航下開始(航下者以外は撤収の準備)

15:00 第4航下終了

16:00 撤収

16:30 温泉

2 (月)

8:00 部室集合片付け

レンタカー返却

22:00 解散

参加者の感想

川原(二回生): 今回の合宿で長良川を訪れるのは2回目となった。正直、ラフトの下に潜り込んだ、前回の合宿のトラウマは残っていた。今回は一体どんなことが起こるのか、半ば不安交じりの期待をしていたが、ラフトがフリップし、全員川に投げ出されるといふ素敵な事態が起こった。カメラの記録には、綺麗に引っくり返るラフトが残り、自分含む数人の記憶には、新たな恐怖が残った。

今後の川活動では、渦を巻いている様な場所ではパドルを離すことも、時として大事だと念頭に入れておきたい。

笠井(四回生): 長良川でのラフティングはコレで4回目だが、6月増水期は初めてだ。

流れが強い分エキサイティングであり、メンバーも多く楽しかった。だが恐怖をいつも以上に感じたことも事実。増水、川合宿初参加者、後輩の力量、4回生の立場などいろいろと不安要素はあった。なかでも一番の原因は自分がびびったこと。ケムシの瀬をみて正直びびった。けど「いきたい」って思ってしまった。こういう気持ちが一番危ないのだろうと今つくづく感じる。もしかするとクルーは行きたくなかった者もいるのではないかと。だが、いかずにはいられない。大馬鹿者。

ケムシの瀬にチャレンジするも、案の定失敗して流される。ホワイトウォーターの中でまわされて、PFDは浮かないし、天地は不明。一瞬水面に出るが、巨大な岩にぶつかってもう一度回された。久しぶりに焦った。事故キングのこの自分が焦った。

明らかに今までで一番キツイ流され方だった。安全な場所とわかっていてもヤバイと思った。流されている途中で、生きることをあきらめた部員が出たのも納得できる。

けれども、こんな経験をしときながら夏にはおそらくまた自分で「行こう」と言い出すだろう。なんせ楽しかったんだから。我ながら狂っているとしか思えない。

藤田(四回生): 自分にとって馴染み深い川である長良川ですが、探検部の川宿としてくるのは初めてでした。やはり普通の保津とは違い、水の綺麗さから急流の迫力まで満喫できる部分が多く、充実した合宿でした。一部危険な箇所があり、そこでの対処について詳しく説明があると初めての人にとってもう少し楽しめたかも？と思います。

鈴木(四回生): 今回は2度目の長良川でした。が、着いていきなり雨に降られ、テンションがた落ちでした。そのまま天気は回復せず1日目を迎え、前半組で下らせてもらいましたが、やはり保津峡と違って、何度行っても本気で瀬が怖いと思えるところでした。下り終わった後は夕飯の用意をさせて頂きましたが、無事においしく作ることができました。また、行き帰り含め、事故が無く無事に帰ってこられてよかったです。

CLとしての感想

米田(二回生): 今回、長良川合宿初日の航下時は天候に恵まれずかなりきついものとなりました。瀬の流れは怪物のようにうねり、ラフトを簡単にひっくり返してしまいました。

二日目は天候に恵まれ快適な川下りとなりましたが、前日の雨天の影響がまだ残っており、やはり瀬の流れは速いまでした。そのおかげで今回の長良川合宿はかなり刺激的なものとなりました。3度ほど危険な状況がありましたが、怪我人がでるなど事故がなくてなによりでした。これも保津川合宿で積んだ訓練のおかげです。今回の合宿では参加者全員が貴重な体験ができたと思います。